

校歌

作詞：鏑木 勢岐

作曲：今井 松雄



1. もりのみやこせいなんか
2. あらなみよこすのせいはんじかて
3. じらんせいいいすきにかはんじかて

4
ぶしらのねのゆきをあおぎみ
いぶらんかのながれあしおさみ
8
はしーていいちによのみちーをゆ

12
てはてななくつづくかがるへいく
のまならびのつづくなじかはるけくの
くあたらたなるよのあけぼの

16
やだいちのーめぐーみゆたーかなり
もじーしゅけーいあいのかじーとなり
にかくおんのーひかーりかかーげん

20
るとしがしをしのがぶふるーさとつ
とああせいしゅんののちしーおわ

にわーがまなびやはそそりたつ
つきぼーうにもえはそそぎゆかんの
くりそーうにいけるわがともよ

1. 森の都の 西南部

白嶺しらねの雪を 仰ぎ見て
はてなくつづく 加賀平野
大地あつちの恩恵 ゆたかなる
富樫をしのぶ 古里ふるさとに
わが学舎まなびやは そそり立つ

2. 荒波よする 日本海

文化の流しお 潮騒しおさいの
学芸がくげいの航路くわんろ はるけくも
自主敬愛の かちとりて
真理まことの彼岸ひがし めざしつ
希望に燃えて こぎ行かん

3. 人生意気に 感じては

師弟してい一如いかによの 道を行く
新たなる世の あけぼのに
久遠くわんの光 かかげんと
ああ青春の 血潮わく
理想に生ける わが友よ